

2024 年度 日本鳥学会ポスター賞募集要項

企画委員会

日本鳥学会は、これからの日本の鳥類学を担う若手会員の発表を奨励するため、日本鳥学会大会で優れたポスター発表を行った若手会員に日本鳥学会ポスター賞を授与する。

本賞の募集を下記のように行うので、積極的に応募されたい。

なお、発表方法や審査方法に変更が生じた場合は、大会ホームページにて随時告知する。

記

対象者：30歳以下（当該大会が行われる年の4月1日時点）の若手会員とし、かつポスター発表の筆頭発表者であり、日本鳥学会大会に参加し、発表をする者。過去に、ポスター賞、黒田賞、中村司奨励賞、内田奨学賞を受賞した者、および参加費免除による高校ポスター発表の発表者は、対象外である。なお、応募者は学会大会 2024 年 9 月 14 日（土）午前 10 時 00 分までにポスター会場に発表ポスターを掲示し、発表時間にはポスター前にてプレゼンテーションをする必要がある。

受賞者：原則として「繁殖・生活史・個体群・群集・生物間相互作用」「行動・進化・形態・生理」「生態系管理/評価・保全・その他」の3部門においてそれぞれ最大1名。ただし応募状況次第では、企画委員会の判断で部門の再編・削減を行う可能性がある。

表彰：2024 度大会において賞状を授与する。副賞はない。

応募の方法：学会大会の一般講演要旨提出時に必要事項を記入する。

応募締め切り：学会大会の一般講演要旨提出締め切り日（2024 年 7 月 12 日）。

審査：一次審査では、講演要旨およびポスターをもとに、企画委員会が依頼した審査委員が、（1）研究のオリジナリティ、（2）議論や解析方法の妥当性、（3）学術的・社会的な重要性、（4）研究テーマの将来性、（5）ポスターのわかりやすさ（短時間でおおまかな内容が伝わる工夫がなされているかどうか）をもとに、二次審査対象ポスターを選考する。二次審査では、対象となったポスターのプレゼンテーションを、（1）研究のオリジナリティ、（2）妥当性、（3）重要性、（4）将来性、（5）

説明の簡潔さと質問への対応の的確さをもとに評価する。ただし、ポスターの掲示期間が十分に取れないなど、大会スケジュールによっては二次審査を実施しない。評価をもとに、学会長に受賞候補者を推薦し、学会長が決定する。

問い合わせ先：企画委員会 委員長 佐藤望 宛

電子メール送信先：osj.kikaku+poster@gmail.com